

ばんげい 教育ほつとにゅーす かわら版

こ みち

教育の小径 No.9



今月の花／アサガオ
花ことば／はかない恋・固い約束

今月の「今日は何の日」

7月 1日：童謡の日・国民安全の日
7月 3日：ソフトクリームの日
7月 4日：アメリカ独立記念日
7月 7日：七夕・小暑
7月10日：納豆の日
7月14日：フランス革命記念日
7月16日：国土交通デー
7月18日：勤労青少年の日
7月19日：土用の丑
7月20日：海の日・Tシャツの日
7月22日：下駄の日
7月23日：大暑・ふみの日
7月24日：劇画の日
7月27日 スイカの日



北 俊夫先生
国士舘大学教授

自由研究できる力を育てる

- 子どもたちが「夏休みの自由研究」に取り組むためには、日ごろから課題発見力、学習計画の作成力、自力解決力、自己評価力を身につけることが大切です。
- 自由研究できる力は、「人生の自由研究」である生涯学習に取り組む力につながります。

自由研究できる力を育てていますか

間もなく、子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。今年も「自由研究」という課題を出す予定の学校もあるでしょう。自由研究という課題には、自由に使える長期の休みを有効に活用して、自分の設定した課題を思い思いにチャレンジさせたいという意図やねらいがあります。

夏休み用の学習帳を一律に与え、1学期の学習内容を復習させる方法もあります。それと同時に、子どもが自分の課題意識にもとづいて、ものづくりや探究的、体験的な活動に取り組むことはとても意義のあることです。

ところが、自由研究は子どもたちにとって必ずしも簡単な課題ではなさそうです。自由研究にどのように取り組んだらよいのかといった、自由研究についての知識や方法を身につけていないと、研究ができないからです。

この1学期間、社会科や理科、図画工作科や家庭科、それに総合的な学習

の時間などに、自由研究できる力をどのように育ててきたでしょうか。自由研究できる力を身につけていない場合には、有意義な自由研究に取り組むことができないでしょう。

自由研究できる力とは何か

では、自由研究できる力とはどのような力でしょうか。事前にどのような知識や力を身につけておくと、夏休みの自由研究に取り組むことができるようになるのでしょうか。そのポイントは次の四つです。

一つは課題を見いだす力（課題発見力）です。どのようなことを研究したいのか。テーマを設定することなく、研究を始めることはできません。日ごろから知的な好奇心、探究心をもって身の回りから「はてな？」を見つける習慣を身につけることが大切です。

二つは課題を追究・解決していく計画を立てる力（学習計画の作成力）です。これによって問題意識が焦点化、具体化し、問題解決への切実性が高まり、

見通しを立てることができます。

三つは自分一人で課題を解決する力（自力解決力）です。自分の力で資料を集め、実験・観察、製作活動などに取り組みます。困ったときには、自分から指導者を探し、助言を求めていかなければなりません。

そしていま一つは、取り組んだことに対して、自分なりに評価し、達成感と達成感を味わうことです。これは自己評価力です。研究成果を発表し合うことによって、友だちや先生から評価を受けることもあります。

こうした四つの力を身につけ、総合的に発揮することによって、子どもたちは自由研究に取り組むことができるようになります。

生涯学習は人生の自由研究

自由研究は、夏休みだけではありません。自ら課題を設定し、自分なりに取り組みながら、過程や結果において学びがいと生きがいを感じる。こうした学習スタイルは、生涯学習の方法と共通しています。生涯学習と「夏の自由研究」はよく似ていますので、生涯学習は「人生の自由研究」であると言えます。

その意味で、自由研究できる力は生涯にわたって学びつづける力でもあります。生涯学習の基礎づくりをする学校教育の役割を実現させるためにも、自由研究できる力を育てることが重要な課題になっています。

金銭の大切さや計画的な使い方について考えさせるため、「小遣い帳」に記録する活動が改めて見なおされています。これまでも、金銭教育、金融教育を推進してきた学校で見られた取り組みです。

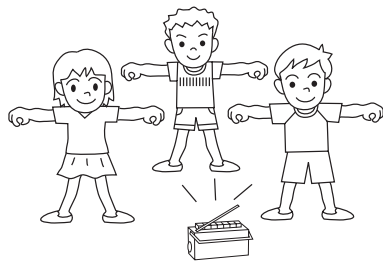
すべての子どもたちが、毎月まとまったお金を手にしているわけではありませんが、小遣いという子どもにある程度使い方が任せられたお金の使い方を目を向けさせることにより、健全な金銭感覚を養うことができます。

子ども用の「小遣い帳」に、いつ、何に、いくら使ったのかを記録させることは、自らの消費活動に関心をもたせ、振り返らせる機会になります。不必要なものや同じものを買っているなど、無駄な買い物をしていることに気づかせ、ものを大切にしようとする意識を啓発させることにもつながります。

必要な物を購入するときには、消費を我慢すること、計画的に貯蓄することなど、お金の価値と役割とともに、お金の使い方、貯蓄の仕方を学ばせることができます。



七夕



ラジオ体操

編集後記

この春から小学3年の娘に小遣いを渡すことになりました。「毎日10円ずつ欲しい」とのこと。毎日では面倒なので、「週に100円」を提案しました。しかし、「毎日10円」がいいとのこと。今でも毎日「小遣い帳」を嬉しそうにつけています。(K記)



企画・編集：ばんげい教育研究所
発行：株式会社文溪堂 発行日：2009年7月1日

ペーパーテストは、通常単元や題材の学習終了後や学期末などに実施されています。その結果は通知表を記載する際に、客観的な評価情報として活用されます。ここにテストを実施する一つの目的があります。

テストの結果から一人一人の学習状況を把握し、もしまずいでいる子どもがいた場合には、そのままの状態に留めておくのではなく、つまずきをなくするように教師がリアクションを起こすこと（一人一人への再指導）が大切です。テストには、結果をその後の指導にフィードバックさせるという機能があります。

このように、テストには子どもが自分の成績をとらえると同時に、教師の指導上の問題点を見だし、授業を改

善するために活用するという、重要な役割があります。

テストは自作したものを活用する方法と、教材会社から市販されているものを活用する方法があります。後者のテストには、問題の内容に標準性と水準性がある程度担保されています。



教育キーワード **英語ノート**

本年度から、各学校の判断で高学年に、総合的な学習の時間を週当たり1時間を充てて、「外国語活動」を設定できるようになっています。

そのための教材が「英語ノート」（1・2）です。5年用と6年用の2冊あり、希望する学校には文部科学省から配布されます。「英語ノート」のほかに、付属する音声CDと教師用の指導資料があります。これらの教材は、

授業で活用する場合と、教員の研修会で使用する場合を除いて、無断で複製することは認められていません。

「英語ノート」を使用した指導のあり方や方法について研修を充実させることが緊急の課題になっています。多くの学校は、教育委員会にネイティブスピーカーの派遣を求めています。現状では自治体の財政状況によって派遣に大きな差異が見られます。

学級通信に使える今月のイラスト

Information (PR)

ばんげいの **夏休み教材**



1学期の基礎・基本のおさらい

